６．終わりに

先進的な図書館システムを見学するのが目的でアメリカの大学図書館に的を絞ったのだが、実際に現地に行ってみると、確かにコンピュータ端末の数にも圧倒されたが、結局、より良いサービスをするという基本的な目的があって、コンピュータが取り入れられているという順序なのだということがよくわかった。そしてまた、家具のデザイン、照明などにみる快適な空間演出、親切な図書館員の態度のなかに、学ぶべき点が多くあった。

さらに、コンピュータが置かれていない従来型の図書館でも、様々な工夫を見ることができた。たとえば、カリフォルニア工科大学のある図書館では、書架の上から2段目が、記入台として使えるように本を置かずに空けられていた。鉛筆、鉛筆削り、用紙もそこに置かれていた。

また、ロサンゼルス公共図書館では、建築・デザインに図書館の理念を表していることなどを参加したツアーで聞くことができた。

総じてどの図書館もアイデアに満ちていた。

最後になったが、スタンフォード大学やバークレー校の行き方、宿泊地などは、京都大学の先生にアドバイスしていただいた。また、カリフォルニア工科大学では京大の卒業生でちょうど留学中だった方に案内していただくことができた。京都大学の先生方や卒業生が、親しんでいる大学を訪れることができて嬉しかった。ますます良いサービスをしていかなくてはという思いを強くした。

今回の研修では本当にたくさんの方々にお世話になった。あらためて感謝の意を表したい。ありがとうございました。

図書館の動き

4月12日	全学共通科目「情報探索入門」開始
16日	収書システム説明会
19日―23日	オリエンテーション
20日	附属図書館講演会「大英図書館と日本コレクション」Yu-Ying Brown
23日	部局図書系事務連絡会議
27日	近畿地区国立大学図書館協議会
	近畿地区国公立大学図書館協議会企画委員会
5月10日	登録番号取得説明会
17日	附属図書館商議会
20日	図書系事務連絡会議
21日	近畿地区薬学図書館協議会
	近畿地区国公立大学図書館協議会講演会
	「英国図書館の未来とイギリスにおける大学図書館の発展」Roman Richard
	「立命館大学における情報化の現状と電子図書館に向けての対応」郷端清人
26日	国立大学図書館協議会・常務理事会
27日	国立大学図書館協議会・理事会
28日	学術情報センターとの業務連絡会